

かくだ

Kakuda city

市議会だより

第172号

平成25年8月1日



ライブ配信やってます

※詳細は6ページ



▲富谷町学校給食センター視察のようす（4月23日）

■おもな内容■

第367回定例会	2～5
◇本会議の概要	2～3
◇陳情の処理・意見書の提出	3
◇議員表彰	3
◇審議結果一覧	3
◇一般質問	4～5

◆学校給食センターを視察	5
◆9月定例会日程（予定）	6
◆議会日誌	6
◆編集後記	6

補正予算議案など

19議案を審議しました

第367回定例会は6月10日に招集され、市長提出議案が17件、議員提出議案が2件、あわせて19件の議案を審議しました。上程された議案は慎重に審議し、17日間の会期を経て6月26日に閉会しました。

本会議

◎第1日（6月10日）

会期を17日間と決定した後、平成24年度角田市一般会計繰越明許費繰越計算書、平成24年度角田市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書及び平成24年度角田市公共下水道事業特別会計繰越計算書の報告がありました。

◎第2日（6月17日）

その後、市長から上程した議案について提案理由の説明があり、専決処分の5議案については、表決の結果、原案のとおり承認されました。

上程された議案のうち条例関係3議案は総務財政常任委員会に付託しました。

◎第3日（6月21日）

条例の一部改正など4議案について審議し、表決の結果、原案のとおり可決されました。

（3ページ参照）

その後、一般質問が行われ、3名の議員が市政全般について質問を行いました。

◎第4日（6月26日）

平成25年度一般会計補正予算など8議案について審議し、表決の結果、原案のとおり可決されました。

その後、谷津睦夫議員を提出者とする「国民年金法等の特例水準の解消を求め、早期実施を求める意見書」の提出を求め、執行委員長 宮野賢一

ディース角田ホームゲーム協議会負担金
○風しん予防接種費用助成金
○鳥獣被害対策実施隊員報酬
○松くい虫伐倒駆除事業委託料

条例の制定

▼角田市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

新型インフルエンザ等対策特別措置法が平成24年5月11日に公布、平成25年4月13日に施行されることに伴い、角田市新型インフルエンザ等対策本部条例を制定するもので

○対策本部

- ・本部長 市長
- ・副本部長 副市長
- ・本部長 教育長、角田消防署長及び市長が任命する市の職員を充てる。

▼職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

東日本大震災を契機とした国家公務員の給与削減措置に伴う、地方公務員の給与削減を前提とした地方交付税の削減による本市の厳しい財政状況等を勘案し、地方公務員法

- 1 減額措置の内容
- (1) 市長及び副市長の給与
 - 給料
 - 市長 ▲30%（現行 ▲20%）
 - 副市長 ▲20%（現行 ▲15%）
 - 期末手当（12月分）
 - 市長 ▲30%
 - 副市長 ▲20%
- (2) 教育長の手当
- 期末手当（12月分） ▲7%
- 勤勉手当（12月分） ▲7%
- (3) 職員の給与
- 給料
- 職員（2級以下） ▲2%
- 職員（3級から5級まで） ▲2.5%
- 職員（6級以上） ▲3%
- 管理職手当 ▲10%
- 期末手当（12月分） ▲7%
- 勤勉手当（12月分） ▲7%

※ 地域手当等の給料月額に連動する手当の月額は、減額後の給料月額等の月額により算出

- 2 減額期間
 - 平成25年7月1日から
 - 平成26年3月31日まで
- 3 施行期日
 - 平成25年7月1日

条例の一部改正の主なもの

▼特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

新たな嘱託員の報酬等について規定するため、所要の改正を行うものです。

○鳥獣被害対策実施隊員

月額 10,000円
費用弁償 3級

陳情の処理

▼「国民年金法等の特例水準の解消を実施しないことを求める意見書」の提出を求める陳情

仙台市青葉区五橋一丁目5-13 全日本年金者組合宮城県本部 執行委員長 宮野賢一

▼「日本政府に核兵器全面禁止

止のための決断と行動を求める意見書」の提出を求める陳情

仙台市青葉区五橋一丁目5-13 2013年原水爆禁止国民平和実行委員会 代表委員 青木正芳ほか14名

▼「原発事故子ども・被災者支援法で定める支援対象地域に角田市を指定すること及び

意見書の提出

国の関係機関へ次の意見書を提出しました。

▼国民年金法等の特例水準の解消を実施しないことを求める意見書

▼日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

議員表彰

5月22日、東京都日比谷公会堂において、第89回全国市議会連合会定期総会が開催され、同会会長から次の方が表彰されました。

特別表彰

（議員在職二十五年以上）
日下七郎 議員
故玉手安博 議員

表1

第367回定例会審議結果一覧

議員数は17名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は16名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブ みんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党 角田市議団	無会派
市長提出議案							
専決							
角田市市税条例の一部改正について	6月10日	承認	○	○	○	○	○
角田市都市計画税条例の一部改正について	6月10日	承認	○	○	○	○	○
角田市国民健康保険税条例の一部改正について	6月10日	承認	○	○	○	○	○
処分							
角田市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	6月10日	承認	○	○	○	×	○
職員給与に関する条例の一部改正について	6月10日	承認	○	○	○	○	○
平成25年度補正予算							
一般会計補正予算（第1号）	6月26日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
介護保険特別会計補正予算（第1号）	6月26日	可決	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	6月26日	可決	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	6月26日	可決	○	○	○	○	○
水道事業会計補正予算（第1号）	6月26日	可決	○	○	○	○	○
条例							
角田市国民健康保険税条例の一部改正について	6月21日	可決	○	○	○	○	○
角田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	6月21日	可決	○	○	○	○	○
市営住宅条例の一部改正について	6月21日	可決	○	○	○	○	○
例							
職員給与の臨時特例に関する条例の制定について	6月26日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	6月26日	可決	○	○	○	○	○
角田市市税条例の一部改正について	6月26日	可決	○	○	○	○	○
その他							
損害賠償の額の決定及び和解について	6月21日	可決	○	○	○	○	○
議員提出議案							
国民年金法等の特例水準の解消を実施しないことを求める意見書の提出について	6月26日	可決	○	○	○	○	○
日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出について	6月26日	可決 (賛成15 反対1)	○	○	○	○	○1 ×1

- ＜各会派の構成メンバー＞
- クラブみんしん（谷津睦夫、今野林一郎、細川健也、伊藤善昭、相澤邦戸、柄目孝治）
 - 政友会（渡邊誠、齋藤正一郎、小湊毅）
 - 市民クラブ（本田敬昭、小島正、湯村勇）
 - 日本共産党角田市議団（日下七郎、八島定雄）
 - 無会派（会派に属さない議員）馬場道晴、佐藤正友議長、高橋力雄副議長



県大会等の角田市誘致について

小湊 毅 議員

議員▼6月2日に総合体育館で4人制ソフトバレーボールの県大会が行われました。その盛況振りも市長もごらんになったと思います。ソフトバレーボールに限らず多くの種目において県大会等の大きな大会を角田市で行って欲しいと思いますし、その為の努力をすべきたと考えますが、市長の考えを伺います。

市長▼平成24年度に角田中央公園、総合体育館を会場として行われた県大会等は15大会、仙南大会等の広域的な大会は65大会が行われています。週末の土日はどの施設も予約でいっぱいですが、このような大会の開催にあたりましては、市としては側面から支援させて頂いているところです。

議員▼山元インターチェンジが交通の便が良くなりました。これを踏まえて、各種スポーツの

議員▼東北メディカル・メガバンク事業について東北メディカル・メガバンク機構(東北大学・岩手医科大学)から資料により説明された件について伺います。

市長▼昨年5月29日、東北大学東北メディカル・メガバンク機構長山本雅之教授以下5名の方が来庁し、説明を受けました。その内容は、東北大学で

は地域医療に貢献し次世代医療を築いて東日本大震災の復興に取り組みことを目的に、東北メディカル・メガバンク機構を立ち上げたもので、その事業は、東日本大震災からの医療復興事業、パイオニック事業、人材育成事業の3事業です。平成24年4月4日、東北大学発足の「東北大学東北メディカル・メガバンク機構の発足」には、事業提案の背景、事業の概要と目的、事業における論理的課題、事業の予算化について掲載されています。

議員▼文部科学省発行の「東北メディカル・メガバンク計画の全体計画」は、本計画は、復興を目的とした平成23年度第3次補正予算及び平成24年度復興予算で措置されており、被災地における医療の再生、医療機関の復興とあわせて、被災地を中心とした大規模なゲノムコホート研究(遺伝子の大規模な疫学健康調査)を行うことにより地域医療の復興に貢献するとともに、創薬研究や個別化医療等の次世代医療体制の構築を目指すことを主たる目的とする。とあり、被災地域(宮城県・岩手県)を中心とした対象地域で15万人のコホート(大規模な疫学健康調査)を実施するとし、市町村が主催する特定健

康診査への相乗りによる8万人規模の地域住民コホートの採血にて疾患があれば同一であることを見極めることで、3世代コホートにおける父親、祖父母世代のデータを求めることとする。これにより、一部の人に特定の劣性遺伝子が発見され公表されれば、地域や血縁に対する偏見と差別を生みません。また、3世代コホートによる遺伝子調査で「実子問題」が発生することにも危惧されます。よって、協定を締結する前に市民にお知らせすることが必要だと思えますがいかがですか。

市長▼協定後に周知して十分だと思っています。そういう検診の時を利用して調査することによって、全てを皆調査するのでなく、同意を得た方の調査ですので、不特定多数の人にかかる問題ではないと認識しています。ただし、個人情報保護条例に基づいてしっかりと対応します。

【目下議員その他の質問】
○阿武隈急行角田駅東西自由通路(市道1271号 角田駅西口1号線)のツバメの巣に関する

議員▼6月2日に総合体育館で4人制ソフトバレーボールの県大会が行われました。その盛況振りを市長もごらんになったと思います。ソフトバレーボールに限らず多くの種目において県大会等の大きな大会を角田市で行って欲しいと思いますし、その為の努力をすべきたと考えますが、市長の考えを伺います。

市長▼こちらから働きかけて大会の誘致をするというだけではなく、県大会等の主催者が角田市の施設を使いたいということと、向こうからごんども申請してくる状況です。なかなか施設に空きがない状態ですので、積極的に働きかけることは、現状ではなかなか難しいと思っております。角田市で開催する種目にふさわしい、受け入れ組織がしっかりとしている協会・団体であれば、受け入れていくよう体育協会と連携しながら進めて行きたいと思っております。

議員▼総合体育館は、夏暑く寒い、事前に言わなければシャワーからお湯が出ないという苦情を聞きます。温度管理、汗を流すという点にももう少し重点を置いて整備すべきではないかと考えます。

議員▼宮城県健康に関する有識者会議の判断に基づいて対応しており、健康調査への補助は、昨年9月の定例会でも答弁したとおりで、補助する考えはありません。

議員▼生活保護制度の現状と課題について

議員▼現行法では、生活保護の申請を行う際、申請の意思を伝えればよくて、提出書類などの要件はありません。書類提出口頭による申請の運用実績はあります。

市長▼書類提出なしで口頭申請することは可能ですが、このような申請の場合には、その後の事務処理に支障を来し、申請手続に遅れを生じさせることにもなりかねません。必要最低限の事項については、申請書類に御記入いただいています。障害や文盲がある方の場合には、複数の職員が立ち会い、本人に確認をしながら職員が代筆して申請することも可能です。なお、これまでに生活保護の口頭申請はありません。

総合的な子育て支援策について

八島定雄 議員

議員▼角田市の子ども医療費助成は、通院・小学校6年生、入院・中学校3年生までとなっておりますが、通院についても中学校3年生まで充実・拡充する考えがありますか。また、制度拡充するにどれくらいの金額(概算)になりますか。

市長▼宮城県の助成制度の水準が、拡充されることになれば角田市でも中学校3年生まで全て公費負担ということが可能になるような、医療費の算出をしていきますので、早く県のほうの助成を拡大して欲しいと思っております。また、現行制度に加えて、通院分の補助を中学修了まで拡大した場合の財政負担は、概算で約1,000万円必要になると考えています。

議員▼特に小・中学校の校庭で、「校庭内の表土除去後の覆土状況が硬くて、石ころが目立ち運動場としては適していない」という強い指摘がされています。今後どのように対応していく考えなのか伺います。

議員▼子ども及び保護者の安全・安心のために希望者全員に対して健康調査、甲状腺のEco検査及び血液検査等の費用を

市長▼24年度の実施状況と御指摘を踏まえ、覆土の土質や施工方法などについて再度検討し、できるだけ除染作業前の状態に近づくような努力をします。

議員▼甲状腺のEco検査及び血液検査等の費用を

学校給食センターを視察

現在、角田市議会では、平成27年8月下旬(2学期)から供用開始を予定している、角田市学校給食センターにおける、米飯給食の炊飯について検討しています。

これまでどおり「学校給食センターで炊飯を行う方式」と経費節減の観点から「炊飯業者への委託方式」とで協議しており、4月23日、議員15名、市当局関係職員8名により、先進地である大崎市大崎南学校給食センター及び富谷町学校給食センターを視察してきました。

視察当日は、「学校給食センター整備に係る経過及び整備に関する考え方」、「米飯給食の提供に係る炊飯のセンター方式でのメリット・デメリット」及び「ランニングコスト等維持管理経費」について担当職員から説明を受け、活発な意見交換

を行ってきました。今後とも、よりよい学校給食センターになるよう協議してまいります。



議員▼子ども及び保護者の安全・安心のために希望者全員に対して健康調査、甲状腺のEco検査及び血液検査等の費用を

市長▼24年度の実施状況と御指摘を踏まえ、覆土の土質や施工方法などについて再度検討し、できるだけ除染作業前の状態に近づくような努力をします。

議員▼甲状腺のEco検査及び血液検査等の費用を



▲担当職員から説明を受ける (大崎市大崎南学校給食センター)

市議会9月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 8月29日(木) 招集告示
会派代表者会議
- 9月 2日(月) 議員協議会
議会運営委員会
- 9月 5日(木) 本会議 (提案理由の説明)**
会派代表者会議
正副常任委員長会議
- 6日(金) 議会運営委員会
- 11日(水) 常任委員会 (請願審査)
- 12日(木) 本会議 (質疑・自由討議)**
決算審査特別委員会
- 13日(金) 決算審査特別委員会**
- 17日(火) 決算審査特別委員会**
会派代表者会議
- 18日(水) 決算審査特別委員会分科会
- 19日(木) 決算審査特別委員会分科会
- 20日(金) 常任委員会 (議案審査)
- 24日(火) 常任委員会 (議案審査)
- 25日(水) 決算審査特別委員会
議会運営委員会
- 26日(木) 本会議 (討論・表決・一般質問)**
- 27日(金) 本会議 (一般質問)**
議会運営委員会
- 30日(月) 本会議
議会運営委員会
- 10月 4日(金) 本会議**

※請願及び陳情等の提出期限は、8月29日(木)までとなります。
 ※本会議の開会時刻は、午前10時です。
 ※太文字はライブ配信を行います。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのかわることができます。

お気軽に足を運んでみませんか。

また、インターネットを利用したパソコン、各地区自治センターのテレビ及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでも議会中継がご覧になれます。

※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

第367回(平成25年6月)定例会

傍聴者数 3名
 インターネットライブ中継視聴者数 45名

議 会 日 誌

- 23日 議員研修会学校給食センター視察(大崎市・富谷町)
議会運営委員会
- 5月 市議会だより171号発行
- 2日 会派代表者会議
- 31日 全員協議会
業団議会臨時会
- 30日 仙南地域広域行政事務組合議会臨時会
みやぎ県南中核病院企業団議会臨時会
- 27日 会派代表者会議
- 22日 全国市議会議長会定期総会
- 26日 議員協議会
- 25日 会派代表者会議
- 21日 本会議(第3日)
会派代表者会議
- 20日 本会議(第2日)
会派代表者会議
- 18日 議会議務財政常任委員会
議会運営委員会
- 17日 本会議(第1日)
会派代表者会議
- 11日 議会運営委員会
会派代表者会議
- 10日 第367回定例会本会議(第1日)
議会運営委員会
- 9日 政視察(〜11日)
政視察(〜5日)
教育厚生常任委員会行
政視察(〜11日)
- 7月 議会だより編集会議
- 3日 産業建設常任委員会行
政視察(〜5日)
- 12日 議会だより編集会議
- 9日 政視察(〜11日)
政視察(〜5日)
教育厚生常任委員会行
政視察(〜11日)
- 6月 第367回定例会招集告示
- 6日 議員協議会
- 26日 本会議(第4日)
全員協議会
- 25日 議会運営委員会
本会議(第3日)
- 21日 本会議(第3日)
会派代表者会議
- 20日 本会議(第2日)
会派代表者会議
- 18日 議会議務財政常任委員会
議会運営委員会
- 17日 本会議(第1日)
会派代表者会議
- 11日 議会運営委員会
会派代表者会議
- 10日 第367回定例会本会議(第1日)
議会運営委員会
- ごみ処理等対策調査特別委員会
議会運営委員会

編集後記



今年は雨量が少なく、田植えが出来なかった農家の方や井戸水が枯れるなどの現象があったりと、異常気象の気配がする天候となっています。

さて、6月定例会の一般質問者が3人と少なかったため、今回の「市議会だより」は6ページ構成といつてもより少なくなっています。市民の方からは「市民の声を」と議会へ反映してくれ」という厳しい声も聞かれました。角田市議会としてもこのことを踏まえて、9月定例会に望みたいと思います。

なお、市民の皆様の声は、日頃の議員活動や議会報告会及び一般会議等でも反映しているところですので、ぜひ気軽に議員に声をかけて下さい。

また、「開かれた議会」を目指す角田市議会は、インターネットライブ配信を実施しており、より多くの方々に視聴していただく環境を整えているところでありますが、いつでも視聴できる録画配信に対する要望も市民の皆様から出されており、今後の課題とさせていただきます。

議会だより編集会議